

やまきたまち 議会 だより

議会の^oおと

P 4～7 … ここが聞きたい？決算審査
P11～19 … 9名の議員が町政を問う
P22 … 子育て世代の声を



議会ホームページは
こちらから

気持ちで負けるな！一蹴入魂
山北サッカークラブ (関連記事は裏表紙に)

9月定例会 (9月6日~15日)

一般会計補正予算 **7億3733万円**を追加

歳入歳出 **総額 59億253万円**

注目事業!!

事業	内容	金額
鳥獣害対策事業	獣害防止柵申請の増加	188万円
林業促進事業	ナラ枯れ被害木伐採・くん蒸(新規事業) 間伐材搬出奨励金等	287万円
学校管理費	中学校プールの解体工事	2500万円
財政調整基金積立金	積立金の増額	1億5000万円
国民健康保険事業繰出金	国保会計の借入金の返済	7100万円

学校教育課長 防災水利として活用しておらず、害虫が発生しており、解体して地主と話し合う。

中学校のプールは地域の防災水槽として使うのではないか。

中学校工事請負 (2500万円)

農林課長 獣害防止柵の助成が当初計画の30件を超え今後増える見込みのため。

増額した要因は。

鳥獣害対策 (188万円)

主な議題は、令和2年度一般会計・特別会計決算、条例改正、補正予算、発議案件など27案件を審議し、全て原案どおり認定及び可決しました。
令和3年度一般会計補正予算は、国からの地方交付税などにより増額補正となりました。
*一般質問は9人の議員が登壇しました。(11ページから19ページに掲載)
*議員発議は2件提出されました。(10ページに掲載)

農林課長 新規事業であり、放置していると倒木の危険がある町有地の18本が対象である。
町民からの相談はないが、パンフレットや町ホームページ等で周知する。

ナラ枯れ被害の状況と町民からの相談は。

林業促進 (287万円)



獣害防止柵で耕作意欲を

放課後児童クラブの職員経費の増額要因は。

児童福祉総務費 (49万円)

福祉課長 5月より定期的な支援員同士の情報共有を図る場を設けたことにより、勤務時間が増えたため。

何をするための繰り出しか。

国民健康保険への繰出 (7100万円)

副町長 国保会計の県からの借入金を返済するもの。



熱心にミーティングをする支援員

7月臨時会 (7月21日)

一般会計補正予算(新型コロナウイルス追加支援対策)

歳入歳出 **8266万円**を追加

子育て支援 (900万円)

子育て支援の内容と対象者は。

福祉課長 図書カード5千円、クオカード5千円で、0歳から15歳の全世帯の子ども900人分。

支給方法を現金支給でなく、図書カード、クオカードとした理由は。

福祉課長 現金では口座情報の申請が必要となるが、その手間を省くこととした。図書カードは10年の有効期限、クオカードは無期限で町外でも使える店舗が多く、活用する幅が増える。

子育て家庭への生活支援 (732万円)

支援の内容と対象者及び財源は。

福祉課長 低所得家庭の122人に対し、国が5万円、町が1万円支援するもの。

農地防災 (500万円) 及び 農地災害復旧工事 (330万円)



足柄茶を守る防災工事

谷ヶ地区農地防災工事は令和元年台風19号で被災し、復旧した場所が7月3日の大雨で、再度被災した。復旧設計は妥当であったのか。

農林課長 今回の被災は、復旧した場所ではなくその周辺の法面である。国庫事業では原状復旧が機能回復が基本であり、応急復旧後に農地から土砂を取り除く農地災害復旧工事をする。

谷ヶ地区では、災害復旧事業のほか、3年程度かけ、被災箇所上部を防災工事で行う2本の事業となる。

商品券特別会計補正予算 (9927万円)

商品券特別会計補正予算 (9927万円) コロナの影響で令和2年度に2回プレミアム付商品券を販売したが、今回50%のプレミアムをつけた要因は。

商工観光課長 アンケートでは、町民は96%、事業者は33%が満足という結果であった。事業者から期間が短いとの声があり、今回は使用期間を延ばし、コロナの影響が長期化していることを考え、双方にメリットがあるよう50%のプレミアムにした。

取扱事業者は増えているのか。

商工観光課長 商品券取扱要綱により募集し、昨年より2事業者が増え、7月時点で100事業者となっている。



ボク絵本大好き!

ここが聞きたい



決算審査

1
日
目

令和2年度 一般会計・特別会計・水道事業会計歳出決算額
106億2072万円

令和2年度の一般会計及び各特別会計・水道事業会計の決算について、9月10日、13日の決算特別委員会（石田照子委員長）で審議した。主な質疑は以下の通り。



石田照子決算特別委員会委員長

町税 コロナの影響は

収入未済額が増えているが、コロナ禍における町税の影響は。

※収入未済額とは…5月末までに納付されなかった金額のこと

収入未済額は5年で時効となり不納欠損となる。税の公平性の観点から、今後の徴収についての取組みは。

※不納欠損とは…滞納分の徴収金が徴収できなくなり、消滅した金額のこと

町民税務課長 収入未済額については昨年より多くなっている。納税猶予制度によって8社で約1200万円の申請が影響している。町税全体としてはそれほど減収とはなっていない。



山北の森林

町民税務課長 不納欠損を出さないように収納促進会議で情報を共有し、分納等の対応をしている。その後、納税力のある方については預貯金等の差押えを行い、生活が困窮されている方には執行停止を行うなど、区分けして徴収事務を実施していく。

森を活かそう



森林環境譲与税の今後の交付見込みは。

また、森林の活性化のために計画的に事業を進めては。

農林課長 森林環境譲与税の交付は令和元年度から始まり、令和2年度は1364万円が交付された。また、令和4年度には約1700万円、令和6年度からは2100万円程度の交付を見込んでいる。

林道整備などのハード事業での活用が主だったが、今後は、ナラ枯れ対策や間伐材の搬出奨励、森林ボランティアを実施している団体への助成などソフト事業を進めていきたい。

鳥獣被害を食い止める

鳥獣害対策で助成している防護柵等の効果は。

農林課長 有害獣の捕獲数は令和元年度はシカ、イノシシ合わせて1058頭、令和2年度は889頭だった。生息頭数は減少しているが、農作物の被害は減っていない状況である。柵の設置や助成について

有害獣の農地への進入防止や被害拡大の抑制になるよう、また捕獲や追払いなども併せて実施しながら、複合的に対策を進めていく。





おいしい足柄茶に！ 日々汗を流す

持続可能な足柄茶に

足柄茶振興事業では生産農家に対し、一戸あたり10万円の助成をしたが、農家数は年々減少している。
維持または増加に向けた対策が必要では。

農林課長 農家の高齢化や後継者不足から生産量が減少している。根本的な問題は担い手不足であり、管理を委託できるような仕組みづくりが重要である。苗木の助成などと合わせて、検討していきたい。



環境にやさしいグリーンカーテン

STOP! 地球温暖化

地球温暖化防止対策事業 業に対する全体的な歳出の割合が少ない。
温暖化対策として町民への啓発や、物品購入補助などの考えは。

町長 温暖化などにより環境が変わってきている。町としても積極的に調べて、対策に予算がかかるのであれば対応していく。

環境課長 庁舎内のCO₂削減実行計画やまきたアクションプランにより目標値を定めながら取り組んでいる。
また、紙ごみや電気使用量の削減や環境に配慮した事業実施、環境配慮行動などを啓発している。
生ごみ処理機の助成についても、塵芥処理費に含まれているので、地球温暖化対策の枠組み以外でも温暖化対策を実施している。

耐震改修補助

ブロック塀除却費補助について、対象件数と今後の補助の方向性は。

都市整備課長 例年数件の申請があるため、今後同程度の申請はあると考えている。広報等で引き続き周知を図っていく。

通学路については対象件数を確認し、場合によっては所有者に除却の要請をすることも検討しては。

都市整備課長 通学路については学校教育課、松田警察署、県西土木事務所と定期的に点検を実施している。その中で所有者への要請についても検討していく。



安全な通学路を

2日目

病気の子どもを預かる施設

病児保育事業は、共働
きには助かる事業であ
る。登録者、利用回数な
ど伸びていないが、もっ
と利用増に向けて努力す
べきではないのか。

福祉課長 現在、登録者数
は12名で、5町で運営して
おり、施設は開成町にある。
いざという時に預けられ
る施設であり、子育て世帯
には安心できる事業である
ため、事業内容などPRし
ていく。



子育て世帯が安心
できる病児保育施設
(開成町)



頑張る未来のスターたち

ネット利用で 読書習慣の 促進を

昨年度から導入された
電子書籍は多くの方に利
用していただきたい。利
用状況と、取り組みは。

生涯学習課主幹 読書離れ
の解消、感染症予防にも有
効であるため、小中学生へ
の登録を促し、朝読書等に
活用できるよう進めていく。

好評だった やまきた塾

やまきた塾は新型コロナ
ウイルス感染症による
休校への措置として開校
した。
コロナに関係なく続け
るべきではないのか。

教育長 中学3年生を対象
に英語と数学の授業を実施
した。協力いただいた鹿島
山北高等学校は、現在、出
張スクーリングを計画して
おり、対応していただくの
は難しい。
また、公設で塾を開講す
ることが良いことなのかも
検討しなければならない。

ミストで涼しく熱中症予防

各学校、園にミストが
出る装置を設置した。
衛生面の管理はどうか。

教育長 コロナと熱中症の
症状が似ていることから、
熱中症のリスクを避けるに
は有効であり、結果、コロ
ナ対応に役立った。衛生面
では、使用後撤去し、清掃
してから保管している。



ミストを浴びてリフレッシュ (山北少年野球クラブ)



楽しい楽しいお茶飲み会（清水地区）

小さな困りごとを支え合おう

介護ボランティア制度は小学生以上を対象とした支え合いの精神を養う良い事業であるが実績がない。

参加しやすい方法に変えるべきではないか。

保険健康課長 登録はポイント交換の仕組上必要である。再度、学校や成人式などでPRしていく。

福祉課、保険健康課との連携を図りながら、制度についても検討する。

自力避難できない方をお手伝い

避難行動時要支援事業は、登録者の状況変化に対応し、機能する制度でなければ意味がない。

避難訓練にも活用すべきではないか。

福祉課長 災害時には要支援者のもとへ優先的に駆け付けられる名簿にし、避難訓練にも活かしていく。

一時的に保護し見守る

高齢者等一時保護事業の利用状況と、利用できる施設は。

福祉課長 命に直結した事業であり、宿泊できる町内施設と協定を結んでいる。年齢制限はなく、DVの疑いがある場合などにも利用できる。

特別会計

国民健康保険税

運営主体が県へ移管され3年が経過した。世帯数が減少している中、納付されていない保険税がある。今後の運営についての考えは。

副町長 4600万円ほど保険税の未納があり、滞納整理を行っている。

保険税を上げれば更に未納額が増える可能性もあり、苦慮している。今後も適正に判断していく。

交通不便地域で利用されているタクシー券

福祉タクシー運行事業のタクシー券が、路線バスにも利用できるようになり便利になった。

しかし、利用者が減少している。

要因は。

福祉課長 コロナの関係で、外出を控えたことが要因であると考ええる。

(高齢者用)
2021年度 山北町福祉タクシー助成券つづり

利用者名	生年月日	性別
見本	大・昭 年 月 日	男・女
住所 山北町	電話	

※利用者名に記載された本人のみ利用できます。
※紛失しても再発行いたしません。
※有効期限 2022年3月31日まで

No.111

利用範囲が広がった
タクシー券



議の結果

第4回 臨時会（7月21日）

件名	審議結果	件名	審議結果
個人情報保護条例の一部を改正する条例 ・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正等に伴い、改正するもの	可決	令和3年度一般会計補正予算（第4号） ・主に子育て世代生活支援特別給付金事業や災害復旧事業による増で、歳入歳出それぞれ8266万円増額し、予算の総額を51億6519万円とする	可決
手数料条例の一部を改正する条例 ・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正等に伴い、改正するもの	可決	令和3年度商品券特別会計補正予算（第1号） ・プレミアム付商品券を発行するため、歳入歳出それぞれ9927万円増額し、予算の総額を1億625万円とする	可決

第3回 定例会（9月6日～15日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和2年度一般会計歳入歳出決算認定	認定	令和2年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
令和2年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	令和2年度商品券特別会計歳入歳出決算認定	認定
令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	令和2年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	可決・認定
令和2年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	町営住宅条例の一部を改正する条例 ・所得税法の改正に伴い、令和3年1月1日付で公営住宅法施行令の一部が改正されたこと等に伴い、改正するもの	可決
令和2年度町設置型浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	令和3年度一般会計補正予算（第6号） ・主に歳入は普通交付税の確定による増、歳出は国民健康保険事業特別会計繰出金の増で、歳入歳出それぞれ7億3733万円増額し、予算の総額を59億253万円とする	可決
令和2年度山北財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） ・主に繰り上げ償還のための繰入金と公債費の増で、歳入歳出それぞれ8185万円を増額し、予算の総額を15億2307万円とする	可決
令和2年度共和財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ・主に前年度繰越金の確定による増で、歳入歳出それぞれ158万円増額し、予算の総額を1億8657万円とする	可決
令和2年度三保財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定	令和3年度下水道事業特別会計補正予算（第1号） ・主に前年度繰越金の確定による増で、歳入歳出それぞれ415万円増額し、予算の総額を3億9861万円とする	可決

議案等審

件名	審議結果	件名	審議結果
令和3年度町設置型浄化槽事業特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定による減で、歳入歳出それぞれ521万円減額し、予算の総額を5170万円とする	可決	令和3年度防災行政無線デジタル化屋外子局整備工事(山北・岸・向原・清水・三保地区)請負契約の締結 ・随意契約による契約：一金6985万円	可決
令和3年度山北財産区特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定による増で、歳入歳出それぞれ58万円増額し、予算の総額を430万円とする	可決	教育委員会委員の任命 ・任期満了に伴い、委員を任命するもの「小菅正子」氏	同意
令和3年度共和財産区特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定による増で、歳入歳出それぞれ627万円増額し、予算の総額を5081万円とする	可決	議会会議規則の一部を改正する規則 ・議員活動と家庭生活との両立支援をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備を図るため、また、請願手続きについて、押印の義務付けを見直し、請願者の利便性向上を図るため、改正するもの	可決
令和3年度三保財産区特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定による増で、歳入歳出それぞれ46万円増額し、予算の総額を784万円とする	可決	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 ・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実が必要との意見書を国及び国会に提出するもの	可決
令和3年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定による増で、歳入歳出それぞれ5211万円増額し、予算の総額を12億8665万円とする	可決	専決処分の承認 (令和3年度一般会計補正予算(第5号))	承認
令和3年度商品券特別会計補正予算(第2号) ・主に前年度繰越金の確定による増で、歳入歳出それぞれ42万円増額し、予算の総額を1億667万円とする	可決	令和2年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告 ・健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告するもの	報告のみ

清水地区

試行運行実施中

三保地区

デマンドタクシー



町内の希望場所まで、安全運転で送迎
試行運行から本事業へ、更なる調査研究が必要

町の大きな課題のひとつでもある「公共交通の利便性向上」については、議会でも長らく調査研究を進めていました。町では令和3年10月1日から12月27日までの3か月間、清水地区・三保地区の住民を対象にデマンドタクシーの試行運行を実施しています。

地域住民であればあなたでも利用可能です。(介助なしの方に限る) 通院やお買い物など日常の交通の便として活用し、ご意見をお寄せください。

【予約先】 清水支所(77)ー2404
三保支所(78)ー3006

議員発議 1

議員が活動しやすい環境整備を図る

議員が活動しやすい環境整備を図るため、また、議会への請願手続きについて、請願者の利便性向上を図るため、町議会会議規則の改正を提案し全員一致で可決した。

ポイント

- 【1】 議員の欠席の届出について
今まで欠席の理由は「事故」と明記されていたが、今回「公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」に改めた。
- 【2】 出産のための欠席について
今までは「日数を定めて」と明記されていたが、今回「出産予定日の7週間前の日～出産の日後8週間を経過する日までの範囲内」に改めた。
- 【3】 請願書の記載事項等について
今までは請願者の押印が必要であったが署名又は記名押印に改めた。

議員発議 2

コロナ禍対処で国へ意見書を提出

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

このような状況において、地域の実情に応じた行政サービスを提供していくためには、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実が必要であるため、国及び国会に意見書を提出することを全員一致で可決した。

※議員発議とは

地方公共団体の議会の議員は、議会の議決すべき事件について、議案を提出することができると規定されており、議会運営委員会より2件の提案をした。

意見書要旨

- 一、高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出にshaw寄せがなされないよう、地方一般財源総額について十分確保すること。
- 二、固定資産税は、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、今回限りの措置として期限の到来をもって確実に終了すること。
- 三、令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする事。
- 四、令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 五、炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

問 0～15歳の一貫教育保育の実現に向けて
答 基本方針を策定し令和4年度から取り組む



和田 成功 議員

近年の著しい社会変化の中において、町・家庭・地域は、それぞれが役割と責任を自覚し、協働のまちづくりの視点に立ち相互に連携を図りながら、教育・保育の環境を整えていくことが必要である。

子育て世代が安心して子どもを産み育てることができるような子どもにやさしいまちづくりが求められている。

子育て支援としても0～15歳の一貫教育保育への取り組みは重要であり、当町の特色を活かした施策になれば、町のイメージアップなどにも寄与するものと考え問う。

答 推進検討委員会で、各園・学校からの意見等を集約し、より具体的な取り組み等について検討している。

また、発達段階に応じた教育・保育活動への相互理解、学びの連続性と個々の指導者の資質・能力を高める必要性などが課題であり、担当課を一元化し、各園の情報を共有した中で小学校へ繋げていきたい。

問 0～15歳の一貫教育保育の実現に向けての進捗状況は。また、実現に向けての課題は。



共和地区の丸太で遊ぶ (岸幼稚園)



0～15歳まで山北町の特徴を活かした一貫教育保育を (やまきたこども園)



地域の木材で遊ぶ (向原保育園)

問 一貫教育保育の中で、地方創生のカギともなり得る郷土愛の育成にどのように取り組んでいくのか。

答 幼児教育・保育の場では、「山北にふれる」、「山北を知る・山北を学ぶ」、中学校では、「山北に学ぶ・山北に広げる」をキーワードに、学びを進めている。

また、地域貢献への積極的な参加を促し、地域の方との関わりを通して、郷土を愛し、町の将来に広く関わる人材の育成を目指して取り組んでいる。

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 広域連携の中での鳥獣被害対策は 答 防護柵を広範囲に設置する



瀬戸 恵津子 議員

足柄上地域においてイノシシ・シカの農業被害や人的被害に懸念がある。
個体を半減させるという国の方針を更に進めるためにも、5町で共同設置予定のジビエ処理加工施設の建設が待たれる。
そこで、町の対応について質問する。

問 鳥獣被害対策実施隊の協力により、令和5年度までに個体を半減させるという計画の状況はどうか。

答 実施隊によると市街地に出現するので、増えていると思われがちだが、山中では減っており全体では減っている。

問 浅間山等の農業被害と住民への危害防止にドローンを使用し、すみかを把握し対策できないのか。

答 南下しないように嵐・清水地区では、県の財政的支援を受け防護柵を広範囲に設置し対策している。
ドローンの使用は、県へ支援を要望する。



施設設置により獣害が減少

問 松田町に建設予定のジビエ処理加工施設の内容は。

答 上郡5町で基本方針を定めた覚書は、対象の施設は松田町内に設置し事務局は松田町とする。協議会の中で検討している。
秋ごろには決定し、建設を進める予定になっている。
町としては鳥獣被害対策としての利用が基本だ。

問 山北町は広範囲なので捕獲獣搬入までの時間短縮のため、ジビエカー等保冷運搬車の活用を考える必要があるのでは。

答 捕獲獣を食肉加工や販売する場合には、品質保持のため都道府県条例で例えば止め差し後2時間以内に入搬することなど定められているが、神奈川県は条例化されていない。

実施隊等の残渣処理が楽になることが一番のメリットと考える。
現段階では、広域運営が軌道に乗ることが重要だ。

ジビエカーは、今後県や関係団体と検討する。

【猪肉】	
・ロース (1kg)	=4,000円
・鍋用 (1kg)	=3,000円
・ミンチ (1kg)	=2,500円
【鹿肉】	
・ロース (1kg)	=3,000円
・シカ肉 (1kg)	=2,000円
・ミンチ (1kg)	=1,500円

ジビエ肉の提供は今後



堀口 恵一 議員

問 山北駅周辺にある観光桜の老木対策計画を 答 樹木診断し、桜の更新を含め対策していく

令和3年6月の大雨の際、鉄道公園の西側JR敷地内の1本目の桜が、下から1m程度のところで折れて倒れた。他の桜を見るにJR敷地内の多くが傷んでおり、順次老木が倒れることが危惧される。そこで質問する。

問 JR敷地内老木が倒れていくことへの対策、計画は。

答 定期的に状況を観察し、枝打ちや消毒を実施しているが、寿命を迎えて、倒木に至ったと考えている。

今後、樹木医による診断等を含め、桜を残すのか、新たな桜名所を整備するのかなどの検討をしていく。

問 健康福祉センター南側の桜は町有地にある。下草刈り、桜に絡まったつるや苔の除去、さらには新しい苗木を植えるなど計画的に、景観管理をと思うがどうか。

答 樹木医による診断を受け、適切な保全対策を実施する。必要に応じて桜の木の更新を図っていく。



樹木医の診断を待つ、苔で覆われ草まで生える桜の木肌

【フイトンチッドとは】
樹木は、傷ついたときに傷口から病原菌が感染するのを防いだり、害虫などを寄せ付けない揮発性物質を放出している。それがフイトンチッドだ。病原菌やウイルスに対しての強い抗菌、除菌力を持つこともあきらかになっている。

問 新型コロナウイルス対策として樹木のフイトンチッド効果を
答 効果を見込むには、さらに研究が必要と考える

令和3年2月、日本の会社が、森林浴成分のフイトンチッド溶液に関して「新型コロナウイルスへのウイルス不活化試験を実施し、その不活化効果を確認した」と発表した。

呼吸器系が重症化しやすい今回の感染症に対抗するには、我々が吸っている酸素を作り出し、さらにフイトンチッドまで出している樹木を尊重することは大切と思ひ質問する。



街中の大樹でフイトンチッド効果を(合成)



山北駅から森林浴、セラピーロード(合成)

問 新型コロナウイルス対策として、樹木のフイトンチッド効果に期待し、山北駅前ロータリーや旧役場庁舎跡地に樹木を植栽するなど、方針を示す考えは。

答 今回の研究結果は溶液での効果であり、屋外の樹木から揮発した状態での効果を見込むには、さらに研究が必要と考える。

問 青少年の意見を生かせるまちづくりを 答 様々な意見を聞き、取り組んでいく



瀬戸 伸二 議員

第40回山北町青少年健全育成大会において、令和3年度山北町「少年の主張」作文コンクールで特別賞を受賞された山北高校生の「山北町について思うこと」では町の活性化について次のような提言があった。

①山北町の良さを生かした体験活動を観光客に提案できるのでは。

②空き家を町で買い取って安く貸し出すことはできないか。

③人口減少の原因の一つに「不便さ」が挙げられる。私自身共感し、取り組む必要があると考え質問する。



品川区との交流事業で収穫体験（ひだまりの里）

問 体験活動として、農作物の収穫体験などを観光客に提供するにあたり、体験型ふるさと納税返礼品の開発が重要と考えるが。

答 町の魅力を町外の方に知っていたり、農作物の収穫体験を返礼品とすることは、団体等から意向が示された際、必要な支援をしていく。



お試し住宅「ホタルの家」

問 今後町は、空き家対策をどのように進めていくのか。

答 空き家バンク制度を周知し、登録の斡旋を図っている。提言にもあるように、町が空き家を買い取り貸し出すことについて、他の自治体の動向など調査し、研究していきたい。

問 マイカー利用者が多い当町において、駅周辺及び観光地の駐車場整備をどのように考えているのか。

答 駅周辺は、若者子育て世代の定住促進に繋げる手段の一つと考える。町民の意見を伺い進めていく。三保地区において、観光客の路上駐車の問題も発生している。駐車に適した場所も少なく、コロナ終息後の需要等を見極め適正に対応していく。



三保地区の路上駐車



石田 照子 議員

問 「山北藤野線」開通へ働きかけを 答 (仮称)山北スマートIC開通を 道路整備のチャンスとする

現在、三保方面の幹線道路はすべて行き止まりとなっており、災害発生時には孤立する懸念がある。

近年では毎年、各地で大規模災害が発生しているため北へ抜ける道路は悲願であり町長の決意を問う。

問 (仮称)山北スマートICの開通は大きなチャンス。未来の道路整備へつなげていく町長の見解は。

答 北に抜ける道路、町域を超えた道路の必要性は認識している。(仮称)山北スマートICを中心とした道路ネットワークの効果等を検証し、関係自治体との調整や要望活動につなげていく。

スマートIC開通を起爆剤に！



一般車両が通行止めとなっている犬越路林道

問 ※「山北藤野線」は災害時や渋滞時のう回路等、利用価値の高い道路である。相模原市とともに、開通への動きを加速させるべきではないか。

答 相模原市から「山北町の意見交換会の検討内容について情報共有を図りたい」との話があった。今後は情報共有しながら検討を進めていく。

問 ※「やまなみ五湖」の交流や連携、地域の活性化にはソフトだけでなく、ハード事業も必要である。県へ要望したらどうか。

答 エリアとの交流や連携には本町から北へ抜ける道路の整備促進も有効と考える。広域的な道路における議論をまとめ、県へ要望していく。



鉄のゲートが侵入をはばむ。その昔、武田信玄が小田原攻めに、犬を先導させ峠を越えたことから犬越路と言われているそう

山北藤野線

【神奈川県道76号山北藤野線】

山北町向原を起点とし、終点の相模原市緑区小淵(旧津久井郡藤野町)までを結ぶ県道(※主要地方道)である。

主要地方道 国道と一体となって広域交通を分担する幹線道路。整備や管理費用の50%までを国が補助することができる。

やまなみ五湖 丹沢湖、相模湖、宮ヶ瀬湖、津久井湖、奥相模湖の5つの人造湖を指す。

問 インフラ整備計画の進捗状況は
答 財政状況を踏まえ順次更新していく



山崎 政司 議員

山北町は、人口減少と面積の9割以上が山林となっており、税収の増加が見込めない。一方、町民生活に欠かせないインフラの数は膨大であり、近年の大規模災害発生状況から山北町でも災害の発生が懸念されることから質問する。

問 インフラ整備計画の進捗状況及び今後の計画と考え方は。

答 道路・橋梁は、各々計画を定め、定期的点検結果に基づき必要な補修に努めている。

上水道は、令和2年度に経営戦略を策定し順次更新を進めている。下水道は、更新時期に備え令和3年度にストックマネジメント計画を策定する。

今後、災害時にも対応できるように順次更新していきたい。



老朽化している皆瀬川取水口

問 「みんなのでつくる 魅力あふれる元気なまち」は役場から

答 風通しのよい職場環境づくりに取り組んでいる

町長が提唱する「みんなのでつくる 魅力あふれる元気なまちづくり」の現状について問う。

問 山北町全体を魅力ある元気なまちにするためには、役場職員に元気がないと町全体に波及しない。ハラスメントのない働きがいのある職場環境・待遇改善をどう考えているか。

答 働きがいのある職場づくりに向けた職場環境を実現するためには、「業務量に応じた人員配置」「適材適所の人事異動」「公正な人事評価」「パワー・ハラスメントの防止」が重要であり、理事者・職員が一体となり風通しのよい職場環境づくりに取り組んでいる。



「みんなのでつくる 魅力あるまちづくり」の発信拠点

問 富士山噴火ハザードマップに対する町の所感を問う
答 広域的な防災体制の構築を図る



清水 明 議員

令和3年3月、富士山火山防災対策協議会が17年ぶりにハザードマップを改訂し、溶岩流が山北町まで到達する可能性があることを初めて示した。従来想定されていなかった新たな溶岩流による被害は、未曾有の大災害をもたらすものと予想されることから、町の対応を問う。

問 今回の改訂は過去一度も溶岩流が当町まで流れ着いたことのない中で、唐突の感が拭えないが町の所感は。

答 今まででは降灰のみとされていたが、新たに溶岩流も加わった事に驚嘆すると同時に、不測の事態にしっかりと備える必要があると感じた。

問 溶岩流は最短33時間で当町に到達するという。山北地区を中心に避難せざるを得ない状況も考えられるが、この想定外の対策に対する町の方針は。

答 本町が、火山災害警戒地域としての指定を受けたことに伴い、富士山火山防災対策協議会に参画する。県及び関係市町村との連携を確立し、広域的な防災体制の構築を図るとともに、防災意識の向上に取り組む。

問 0歳から15歳一貫教育の方針を問う
答 3歳未満は保育である

一貫した学びを推進するにあたり、克服すべき課題について基本方針を改めて問う。

問 学校教育の対象は満3歳以上となっているが、0歳から3歳未満までの一貫教育とは。また教育の場をどう考えるか。

答 町は、3歳未満の乳幼児期における、学校教育法に基づく集団を通じた学校教育は行わない。保育所における環境を通して園外保育、地域の方々との体験活動、行事などすべての園生活が教育・保育の場であると考えている。



つぶらの公園から見る富士

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 安心して出産できる環境づくりを

答 可能な限りきめ細かい支援をしていく



富田 陽子 議員

令和3年3月、県・小田原市・県立病院機構で基本協定を締結し、足柄上病院の分娩機能は小田原市立病院に集約化されることになった。(以下、上病院、市立病院)

上病院では、すでに新型コロナウイルス患者受け入れ体制のため、産科を休診、院内助産中止に伴い、妊婦検診も行っていない。産科の診療所もない当町にあっては、市立病院への集約化は、物理的距離により出産のリスクが高い。

助産師による畳の上の自然なお産という選択肢もなくなる。安心して出産できる環境づくりを早急に整備すべきではないかと考え、問う。

毎月健康福祉センターで開催されている乳幼児ニコニコ相談



身近な距離に信頼できる相談相手がいるというのが母子にとっての安心安全なのでは……

問 町の見解は。

答 最後まで存続を要望したが、1市5町の足並みが揃わなかった。

産科医不足や市立病院の建て替え等の課題がある。

上病院では産科の設備は残っており、再開の可能性は残してあるが集約化はやむを得ないと理解している。

問 上病院の助産師による院内助産は、畳の上での妊婦に寄り添った自然なお産を促す分娩スタイルで、産後のケアも手厚いことから、存続希望の声も多い。健診や産後ケアなど助産師が行うことができることも多い。県への要望を。

答 今後も県へ助産師のサポートを含めた、上病院産科存続への要望を継続していきたい。

問 集約化で経済的にも肉体的にも負担が増える妊婦への新たなサポートは。

答 今後、できるだけきめ細かな対応を検討していく。

問 上病院で出産できることを知らない人が多かった。今後の定住、移住に力を入れていくためにも近隣の産科等の情報を周知しては。

答 医療機関の情報も含めて前向きに取り組んでいく。

足柄上病院の院内助産とは??

- 助産師が主体で、妊婦健診・分娩・産後の診察・育児相談まで継続的に関わり、お母さんと赤ちゃんが持つ自然の力を最大限発揮できるようサポートするシステム(母乳外来や宿泊も可能な産後ケアも充実)
- 小田原市立病院の医師と妊婦の情報が共有され、安心できる連携が図られている

問 持続可能なまちづくりに向けて

答 足柄上地域の将来を見据えた議論を深めたい



府川 輝夫 議員

足柄上地域5町では、人口減少、少子高齢化、社会保障費の増加など、自治体経営を取り巻く環境は厳しさを増し、平成30年3月に「あしがら地域広域ビジョン」を策定した。

策定にあたり、消滅しない持続可能なまちづくりに向け5町での広域連携の必要性を訴えている。

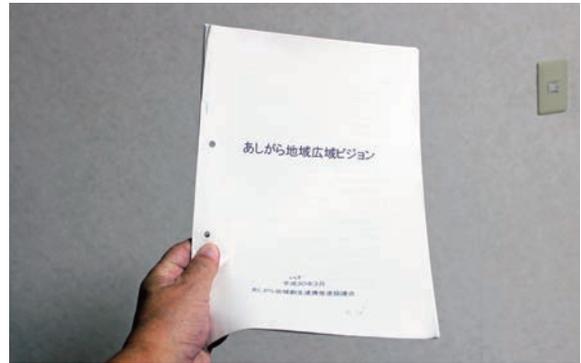
しかし、その後の具体的な政策、成果が見えず、山北町では人口減少、少子高齢化が一層進み、自治体経営が更に厳しい状況となっている。

そこで持続可能なまちづくりに向けて質問する。

問 あしがら地域広域ビジョンの取組み状況、具体的な政策と成果、今後の方向性は。

答 小田原市と南足柄市の合併がなくなり、平成30年10月に、南足柄市を加えた足柄地域1市5町で「あしがら広域連携協議会」を設立し、広域連携に係る取り組みを議論してきた。

今後、さらに足柄上地域の将来を見据えた議論を深めていく。



あしがら地域広域ビジョンを手に

問 山北版ローカルSDGs（持続可能な開発目標）に取組み、町、関係者が共に実践すべきでは。

答 町や企業、団体、地域、町民等が一体となったSDGs目標達成は、持続可能なまちづくりをするうえで、大変重要なことと認識している。

地域課題の解決や地方創生の一層の充実・深化のため、SDGsの目標達成に向け推進していきたい。

問 合併も視野に入れた研究は。

答 市町村合併を否定するのではなく、山北町として将来、合併が必要であると認識しており、今後近隣自治体から協議の場が設定されれば、参画する考えである。

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標である。

17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残されないことを誓っているもの。



原稿は、質問者本人が作成しています。

山北町の**国有林**を考える

議員 研修会



林野庁職員を講師に招き議員研修会を開催した。

林野庁としては、森林整備事業・林業成長産業化総合対策事業を中心に、間伐や主伐後の再造林、路網整備等を実施している。

さらに今後のICTを活用し、林業の低コスト化を進め、山元への還元にも取り組んでいくとの説明があった。

山北町の森林は、今後の林道・路網整備の考え方、頻発する土砂災害への対策、搬出木材のルート確保、虫食い等によるB材以下の木材活用、林業事業者の育成等、多くの課題が山積している。

議会としては、今後もこうした勉強会を重ね、課題解決に向けた調査研究を積極的に取り組んでいく必要があると感じた。

開催日：令和3年7月30日
場所：生涯学習センター
講師：林野庁職員



水ノ木幹線林道

現在一部が崩落により通行止めになっている
今後、復旧すれば木材搬出ルートとなるのでは



No.206議会のおと 広報モニターアンケート

15名の議会広報モニターの皆様から、前号に関してのアンケートに回答していただきました。毎回参考となるご意見やご指摘アイデアをいただきすぐ取り入れられるものは早速編集に活かしております。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。

～議会だよりを多くの方に 読んでもらうために～

- ◆ 山北町の住人にとって生活していく中で、必要な情報を前面に出したらどうか。
- ◆ 議員の人となりを深掘りするような企画（コーナー）を設けたらどうか。



～表紙・裏表紙について～

- ◆ 園外活動を通して子どもたちが、楽しく活動している姿であり、とてもよい表紙だと思います。
- ◆ 子どもたちの姿だけでなく、議会活動直接の写真を使用しては。

～内部紙面について～

- ◆ 「活いきき広場」に移住者を載せてもおもしろそう。あとは企業の話とか。
- ◆ (Pg) 生徒自らが生理について発信するのは大変難しいと思う。
- ◆ 議員が声をあげてくれてよかった。
- ◆ 若い方の定住になると思うので「SUP」に関して、もう少し情報があると良いと思いました。
- ◆ 水上住宅について町として、とても大きな事業だと思いが扱いが小さすぎないでしょうか。
- ◆ 一般質問の答えが簡略すぎる。
- ◆ P10・P11見開きで統一感があり見やすかった。タテ書き・ヨコ書き・ナメ書きと動きがあるのも見やすい。

～その他ご意見～

- ◆ 「おしゃべりカフェ」はとても良い活動だと思いますが、議員個人として、さらに、いろいろな場所に出席し、意見を聞く機会を持ると良いと思います。
- ◆ 24ページはやや多すぎるように感じた。

※全集計結果はホームページに掲載しています。



子育て世代との 意見交換会 ×

やまきた町議会 おしゃべり Cafe

議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的におしゃべりCafeを開催しています。

残念ながら8・9月は緊急事態宣言に伴い中止となりましたが、7月には小田原百貨店で開催しました。

また、同月には三保地区の子育て世代との方々の意見交換会も開催しました。



7/14 三保支所

- ◆ 交通渋滞が心配。夏休み期間中だけでもすれ違いできない箇所に、タイマー式の信号機があるとよい。
- ◆ 路肩駐車により、救急車が通れないことや旅館のチェックインに遅れるお客さんがあった。
- ◆ 駐車場が無いために路上駐車が多い。有料の駐車場を作ったらどうか。
- ◆ 空き家を活用して三保地区に移住していただき、子育て世代の方と一緒に子育てしたい。
- ◆ 社宅を利用し、三保地区への移住対策をしたらどうか。
- ◆ デマンドタクシーの案内を宣伝してほしい。
- ◆ バーベキューゴミを考えてほしい。

7/20 小田原百貨店

- ◆ 町宮原耕地住宅に空き部屋が2年前から2部屋ある。一般募集をしないのか。
- ◆ 大雨により水路が詰まり、畑に土砂が流れ込み被害を受けた。

おしゃべりカフェは 毎月20日開催!

町議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的に「おしゃべりCafe」を開催しています。

気軽にお立ち寄り頂き、皆さまの『声』をお聞かせください。

日時：11月20日（土） 13：30～15：30

**場所：小田原百貨店山北店
（イトインコーナー付近）**

日時：12月20日（月） 13：30～15：30

**場所：山北駅前 Cafe NICO横
（芝生スペース付近）**



各種団体、グループとの出張おしゃべりCafeも始めました。ご要望があれば、どこへでもお伺いします。

※当日の様子など記載したおしゃべりCafe通信はホームページでご覧いただけます。



議会のあり方 検討委員会

活動報告

次世代育成小委員会

コロナの影響で、対面での活動は難しい状況ではありますが、上智大学・山北高校との交流を通して、若い感性をまちづくりを活かそうと活動しています。

- 6 / 1 「議会のおと」205号に山北高校生の声を掲載
- 6 / 4 山北高校に「議会のおと」205号20部持参
- 6 / 24 山北高校探求活動発表会参観（町生涯学習センター）
- 8 / 3 山北高校に「議会のおと」206号20部持参

文科省指定の全国発表会開催に向けて、議会ではできる限りのサポートを準備中。



町の課題解決に向けた提案
(山北高校)

定数問題小委員会



減らすべきか、増やすべきか

アンケートの回答、町の皆さんからの声をいただきながら、議会として皆さんの期待にしっかりと応えられる議員の数を議員全員の討議を通じて探っています。
ここでは削減した場合、議会活動がどうなるのか等、論点を絞りながら検討しています。
今後皆さんとの意見交換会等を開催しさらに論議を深める予定です。

ICT小委員会

★議場インターネット中継
ライブ中継を議場に取り入れられな
いか調査、検討したが設備的に難しい
という結果でした。今後、今ある設備
で中継、配信できる方法を検討するこ
とにしました。

★議会タブレット導入 に向けた調査研究

タブレット及びクラウドを利用する
前に、書類のデータ化を使用する機器
も含めて研究、検討していきます。

★オンライン会議の推進

(新しい生活様式の活用)
コロナ禍において、リモート会議の
可能性をさらに追求していきます。

活きいきひろば

サッカーを通じた子どもたちの成長

山北サッカークラブ

監督 中戸川 昌樹さん



こんにちは。山北サッカークラブです。私たちは町内外多くの方に支えられ、今年度創立42年目を迎えました。

(9月1日現在)で、主に土曜日と日曜日、川村小学校のグラウンドで活動しています。

少子化により会員数は以前より大幅に減少しておりますが、日々の練習や協会主催大会、周辺友好団体の招待試合やイベント等を通し、競技としてのサッカー技術の向上だけでなく、規律・礼儀・社会性・忍耐力を身につけることを目的とした指導はこれまでと変わりません。

会員保護者と共に、楽しく元気に活動しています。今後も末永く活動を続け、山北の活力となる人材の育成に貢献して参ります。



編集後記

うらがれの
末枯野
美しき晩秋の候、町民の皆様におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのことと存じます。

また、「議会のおと」207号をご覧いただきありがとうございます。

コロナ禍でいろいろな制限や我慢が必要な場面があるかと思いますが、そのような中で工夫して、できる方法を探して創っていくことは、素敵なことですね。

編集委員一同、町民の皆様にとって有益な「議会のおと」をご提供できるように取り組んで参りますので、今後ともご愛読賜りますよう、よろしくお願いたします。

末筆ながら、向寒の折柄、体調にはくれぐれもご留意ください。

(和田成功)

議会の傍聴においでください

第4回定例会(予定)

12月6日(月)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 75-3653
議会事務局

議会ホームページ

山北町ホームページ
→町議会のアイコンをクリック



広	会	副	委	会	広
報	長	会	員	長	報
分	堀	山	和	山	分
科	口	崎	田	崎	科
会	恵	政	成	政	会
	一	司	功	司	
	明		夫		
			子		